

2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月13日

上場会社名 株式会社エヌリンクス 上場取引所 東  
 コード番号 6578 URL <https://www.n-links.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 憲介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 栗林 圭介 (TEL) 03-6825-5022  
 定時株主総会開催予定日 2021年5月28日 配当支払開始予定日 2021年5月31日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	4,047	△15.3	△1,273	—	515	—	108	—
2020年2月期	4,776	—	△167	—	△161	—	△182	—

(注) 包括利益 2021年2月期 108百万円(—%) 2020年2月期 △182百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	15.17	14.90	8.8	23.5	△31.5
2020年2月期	△25.58	—	△15.3	△8.7	△3.5

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 一百万円 2020年2月期 一百万円

- (注) 1. 2020年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。  
 2. 2020年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年2月期の対前期増減率は記載しておりません。また、2020年2月期の自己資本当期純利益率および総資産経常利益率は、連結初年度のため、それぞれ期末自己資本および期末総資産に基づき計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	2,541	1,270	50.0	176.27
2020年2月期	1,852	1,191	64.3	166.30

(参考) 自己資本 2021年2月期 1,270百万円 2020年2月期 1,191百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	703	△181	170	1,579
2020年2月期	△228	△183	△21	887

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	35	—	3.0
2021年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	36	33.0	2.9
2022年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	—	—	—

- (注) 1. 2020年2月期の配当性向(連結)については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。  
 2. 2020年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年2月期の純資産配当率(連結)は、期末1株当たり純資産に基づいて計算しております。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,527	51.2	△177	—	△179	—	△253	—	△35.11
通期	5,000	23.5	△264	—	△268	—	△395	—	△54.81

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）株式会社サンジュウナド、除外 1社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期	7,206,882株	2020年2月期	7,164,642株
② 期末自己株式数	2021年2月期	—株	2020年2月期	—株
③ 期中平均株式数	2021年2月期	7,169,106株	2020年2月期	7,136,400株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	3,979	△16.6	△805	—	982	—	107	—
2020年2月期	4,772	0.3	△27	—	△21	—	△192	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年2月期	15.06		14.79					
2020年2月期	△27.01		—					

(注) 1. 2020年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2021年2月期	2,449	1,270	1,270	1,192	51.9	176.27	
2020年2月期	1,837	1,192	1,192	1,192	64.9	166.41	

(参考) 自己資本 2021年2月期 1,270百万円 2020年2月期 1,192百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年3月1日～2021年2月28日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、二度にわたり緊急事態宣言が発令されるなど、社会経済活動が大きく制限され、景気の停滞が長引き、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、主力事業である日本放送協会(以下「NHK」といいます。)からの放送受信料の契約・収納代行業務(以下「NHK業務」といいます。)において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と緊急事態宣言の発令により、2020年3月27日から関東を中心とした一部の支店にて、同年4月8日から全国すべての支店にて2020年5月31日まで取引先であるNHKと協議のうえ、訪問活動等による営業活動の自粛を行ってまいりました。同年6月1日以降につきましては、一部の業務に限定して営業活動を行ってまいりましたが、現在は新型コロナウイルス感染拡大以前の営業状態に戻っております。

メディア事業の不動産メディア業務(「R o o c h」、「イエプラ」、「家AGENT」等の運営)におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により家AGENTにおいて、一部店舗業務の制限を行ってまいりましたが、現在ではすべての業務を再開しております。

一方、メディア運営におきましては、ゲーム攻略サイト(「アルテマ」、「ゴリラwiki」)及びマッチングアプリ情報サイト(「マッチングアプリPlus」、「Life」)ともに好調に推移しており、また、前期より開発を進めてまいりましたマッチングアプリ「ペアフル」のサービスを2020年10月26日から開始いたしました。

当連結会計年度の売上高につきましては、放送受信料の契約・収納代行業務において、新規4案件を開始しており、また、メディア事業が好調に推移したものの、新型コロナウイルスの感染拡大による営業活動の自粛および営業活動の一部制限が影響したことから4,047,363千円と前期と比べ729,448千円(15.3%減)の減収となりました。

一方、販売費及び一般管理費につきましては、人員の増加により給料及び手当を2,871,627千円(同9.9%増)、賞与及び賞与引当金繰入額を105,334千円(同67.2%減)、法定福利費を438,244千円(同0.3%減)、スマートフォンゲームアプリ及びマッチングアプリの開発に係る研究開発費262,409千円(同66.3%増)を計上したこと等から、販売費及び一般管理費の合計は5,273,032千円(同6.7%増)となり、この結果、営業損失は1,273,041千円(前期は営業損失167,350千円)となりました。

営業外収益につきましては、NHK業務において、営業活動の自粛および業務の制限による機会損失の一部が、過去の取引実績に基づき取引先より補償されたことから、受取補償金として1,148,657千円計上し、また、新型コロナウイルス感染症の影響による一部事業活動の縮小に伴い、該当事業の従業員に対し休業を要請したことから、当該休業手当の一部が助成されたことによる雇用調整助成金629,753千円を計上したこと等により合計で1,793,046千円(前期は8,229千円)となり、営業外費用につきましては合計で4,409千円(前期比91.6%増)となりました。この結果、経常利益は515,595千円(前期は経常損失161,422千円)となりました。

また、特別損失を28,351千円計上し、税金等調整前当期純利益が487,243千円(前期は税金等調整前当期純損失161,422千円)となり、法人税等合計を378,504千円(前期は21,129千円)計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は108,739千円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失182,552千円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 営業代行事業

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と緊急事態宣言の発令により、2020年3月27日から関東を中心とした一部の支店において、また、同年4月8日から全国すべての支店において2020年5月31日まで取引先であるNHKと協議のうえ、訪問活動等による営業活動の自粛を行い、また、2020年6月1日以降につきましては、一部の業務に限定しての営業活動となったことから売上高は2,718,829千円（前期比27.1%減）となりました。

一方、費用関連におきましては、人員の増加に伴い、給料及び手当が2,248,334千円（同9.4%増）、賞与及び賞与引当金繰入額が合わせて52,500千円（同80.1%減）となり、また、採用費及び募集費を合計219,584千円（同15.1%減）計上した結果、販売費及び一般管理費の合計は3,480,111千円（同3.5%減）となりました。この結果、セグメント損失（営業損失）は761,281千円（前期はセグメント利益124,058千円）となりました。

② メディア事業（イエプラ）

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により家AGENTにおいて、一部店舗業務の制限を行ったことから売上高が467,406千円（前期比0.8%減）となりました。

一方、費用関連におきましては、給料及び手当が305,808千円（同17.7%増）、賞与及び賞与引当金繰入額が合わせて32,873千円（同12.3%減）となり、また、広告費を14,913千円（同14.8%減）計上した結果、販売費及び一般管理費の合計は544,206千円（同12.1%増）となりました。この結果、セグメント損失（営業損失）は76,800千円（同429.0%増）となりました。

③ メディア事業（アルテマ）

当セグメントにおきましては、ゲーム攻略サイト（「アルテマ」、「ゴリラwiki」）及びマッチングアプリ情報サイト（「マッチングアプリPlus」、「Life」）ともに好調に推移したことから売上高が854,260千円（前期比54.6%増）となりました。

一方、費用関連におきましては、給料及び手当を307,766千円（同9.2%増）、賞与及び賞与引当金繰入額を合わせて18,805千円（同15.7%増）計上し、また、前期より開発を進めておりましたマッチングアプリ「ペアフル」の開発および運用開始に伴い、広告費を172,832千円（前期は13,205千円）、研究開発費を62,963千円（同235.8%増）計上した結果、販売費及び一般管理費の合計は907,149千円（同55.3%増）となりました。この結果、セグメント損失（営業損失）は100,261千円（同218.0%増）となりました。

④ ゲーム開発事業

当セグメントにおきましては、スマホゲームの企画・開発に取り組み、主に開発に係る人件費等を計上したことから、販売費及び一般管理費の合計は199,446千円（前期比43.4%増）となりました。この結果、セグメント損失（営業損失）は199,446千円（同43.4%増）となりました。

⑤ その他

当セグメントにおきましては、求人広告の代理店業務により、売上高は6,866千円（前期比71.3%減）となった一方、販売費及び一般管理費の合計を13,539千円（同43.5%減）計上したことから、セグメント損失（営業損失）は6,672千円（前期はセグメント損失51千円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## 財政状態の分析

## (資産)

当連結会計年度末の資産合計は2,541,943千円(前期末比37.2%増)となりました。

主な内訳は、現金及び預金が1,579,876千円(同78.0%増)、営業未収入金が413,539千円(同9.6%減)、敷金及び保証金が131,923千円(同21.0%減)、投資有価証券が110,730千円、のれんが68,567千円(同32.4%減)、繰延税金資産が62,687千円(同12.8%増)、前払費用が59,714千円(同34.3%減)であります。

## (負債)

当連結会計年度末の負債合計は1,271,611千円(前期末比92.4%増)となりました。

主な内訳は、未払人件費を含めた未払費用が494,042千円(同2.7%減)、未払法人税等が393,572千円(前期末は17,594千円)、短期借入金が200,000千円、未払消費税等が82,878千円(同38.5%増)、預り金が69,225千円(同30.5%増)であります。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は1,270,332千円(前期末比6.6%増)となりました。

主な内訳は、利益剰余金が641,602千円(同12.8%増)、資本金が319,364千円(同0.9%増)、資本剰余金が309,364千円(同1.0%増)であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,579,876千円となり、前連結会計年度末に比べ692,127千円増加しました。

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は703,784千円(前期は228,992千円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が487,243千円、営業未収入金の減少43,987千円、減価償却費35,571千円、前払費用の減少31,121千円、未払消費税等の増加23,038千円があった一方で、法人税等の支払額14,616千円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は181,801千円(前期は183,346千円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出120,000千円、有形固定資産の取得による支出42,919千円、敷金及び保証金の差入による支出29,841千円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は170,144千円(前期は21,956千円の減少)となりました。これは主に、短期借入れによる収入300,000千円があった一方で、短期借入金の返済による支出100,000千円、配当金の支払額35,769千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期(2022年2月期)の第2四半期累計期間の業績予想は、売上高2,527百万円(前年同期比51.2%増)、営業損失177百万円(前年同期は営業損失899百万円)、経常損失179百万円(前年同期は経常利益221百万円)、四半期純損失253百万円(前年同期は四半期純利益72百万円)となる見通しです。

また、通期の業績予想は、売上高5,000百万円(前期比23.5%増)、営業損失264百万円(前期は営業損失1,273百万円)、経常損失268百万円(前期は経常利益515百万円)、当期純損失395百万円(前期は当期純利益108百万円)となる見通しです。

(業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、経済環境等の様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移および国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	887,748	1,579,876
営業未収入金	457,526	413,539
前払費用	90,836	59,714
立替金	20,002	9,555
その他	3,198	54,029
流動資産合計	1,459,312	2,116,714
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	27,382	23,567
減価償却累計額	△11,508	△6,327
建物附属設備(純額)	15,873	17,240
工具、器具及び備品	57,422	63,702
減価償却累計額	△37,292	△33,123
工具、器具及び備品(純額)	20,129	30,579
有形固定資産合計	36,003	47,819
無形固定資産		
のれん	101,386	68,567
ソフトウェア	21,952	1,698
無形固定資産合計	123,338	70,265
投資その他の資産		
投資有価証券	—	110,730
出資金	90	30
長期前払費用	11,055	1,770
繰延税金資産	55,591	62,687
敷金及び保証金	166,999	131,923
投資その他の資産合計	233,736	307,142
固定資産合計	393,078	425,228
資産合計	1,852,391	2,541,943

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	200,000
未払金	22,520	18,353
未払費用	507,879	494,042
未払法人税等	17,594	393,572
未払消費税等	59,840	82,878
預り金	53,053	69,225
その他	—	13,538
流動負債合計	660,889	1,271,611
負債合計	660,889	1,271,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	316,408	319,364
資本剰余金	306,408	309,364
利益剰余金	568,686	641,602
株主資本合計	1,191,502	1,270,332
純資産合計	1,191,502	1,270,332
負債純資産合計	1,852,391	2,541,943

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	4,776,812	4,047,363
売上原価	—	47,372
売上総利益	4,776,812	3,999,991
販売費及び一般管理費	4,944,162	5,273,032
営業損失(△)	△167,350	△1,273,041
営業外収益		
受取利息	7	8
受取補償金	—	1,148,657
雇用調整助成金	—	629,753
助成金収入	6,210	5,490
受取報奨金	895	445
受取手数料	1,062	263
雑収入	53	8,426
営業外収益合計	8,229	1,793,046
営業外費用		
支払利息	—	572
支払手数料	1,976	2,282
株式交付費	325	1,289
雑損失	—	264
営業外費用合計	2,301	4,409
経常利益又は経常損失(△)	△161,422	515,595
特別損失		
減損損失	—	19,082
投資有価証券評価損	—	9,269
特別損失合計	—	28,351
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△161,422	487,243
法人税、住民税及び事業税	8,226	370,902
過年度法人税等	18,570	—
法人税等調整額	△5,667	7,601
法人税等合計	21,129	378,504
当期純利益又は当期純損失(△)	△182,552	108,739
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△182,552	108,739

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△182,552	108,739
包括利益	△182,552	108,739
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△182,552	108,739
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	313,175	303,175	790,671	1,407,021	1,407,021
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	3,232	3,232		6,465	6,465
剰余金の配当			△28,473	△28,473	△28,473
連結範囲の変動			△10,958	△10,958	△10,958
親会社株主に帰属する当期純利益			△182,552	△182,552	△182,552
当期変動額合計	3,232	3,232	△221,985	△215,519	△215,519
当期末残高	316,408	306,408	568,686	1,191,502	1,191,502

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	316,408	306,408	568,686	1,191,502	1,191,502
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	2,956	2,956		5,913	5,913
剰余金の配当			△35,823	△35,823	△35,823
連結範囲の変動				—	—
親会社株主に帰属する当期純利益			108,739	108,739	108,739
当期変動額合計	2,956	2,956	72,916	78,829	78,829
当期末残高	319,364	309,364	641,602	1,270,332	1,270,332

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△161,422	487,243
減価償却費	25,617	35,571
のれん償却額	11,265	18,120
減損損失	—	19,082
投資有価証券評価損益(△は益)	—	9,269
受取利息	△7	△8
支払利息	—	572
受取補償金	—	△1,148,657
雇用調整助成金	—	△629,753
営業未収入金の増減額(△は増加)	△123,703	43,987
前払費用の増減額(△は増加)	27,731	31,121
立替金の増減額(△は増加)	△7,669	10,447
未払金の増減額(△は減少)	6,947	△3,564
未払費用の増減額(△は減少)	111,381	△444
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29,869	23,038
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△19,571	18,422
預り金の増減額(△は減少)	35,688	16,172
その他	2,835	8,662
小計	△120,777	△1,060,715
利息及び配当金の受取額	7	8
利息の支払額	—	△572
補償金の受取額	—	1,148,657
雇用調整助成金の受取額	—	629,753
法人税等の支払額	△118,452	△14,616
法人税等の還付額	10,229	1,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	△228,992	703,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△29,076	△42,919
無形固定資産の取得による支出	△637	—
事業譲受による支出	△120,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△120,000
敷金及び保証金の差入による支出	△53,497	△29,841
敷金及び保証金の回収による収入	19,864	10,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,346	△181,801
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	300,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
株式の発行による収入	6,465	5,913
配当金の支払額	△28,422	△35,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,956	170,144
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△434,295	692,127
現金及び現金同等物の期首残高	1,223,050	887,748
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	98,993	—
現金及び現金同等物の期末残高	887,748	1,579,876

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定)

当社グループでは、繰延税金資産の回収可能性の判断及びのれんの評価にかかる会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループの業績への影響は現時点では限定的であり、当事業年度の見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しております。

(売上原価の計上)

当連結会計年度において設立した連結子会社におけるマッチングアプリの運営にかかるものであります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、営業代行事業、メディア事業（イエブラ）、メディア事業（アルテマ）、ゲーム開発事業、その他関連事業を営んでおり、本社および各支店にて事業活動を展開しております。当社グループの報告セグメントは、事業内容により区分しており、「営業代行事業」「メディア事業（イエブラ）」「メディア事業（アルテマ）」「ゲーム開発事業」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整 (注)2	合計
	営業代行 事業	メディア事業		ゲーム 開発事業	計			
		イエプラ	アルテマ					
売上高								
外部顧客への売上高	3,729,376	471,091	552,442	—	4,752,910	23,901	—	4,776,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,729,376	471,091	552,442	—	4,752,910	23,901	—	4,776,812
セグメント利益又は損失 (△)	124,058	△14,517	△31,524	△139,045	△61,028	△51	△106,269	△167,350
セグメント資産	559,596	48,202	276,749	12,764	897,313	3,549	951,528	1,852,391
その他の項目								
減価償却費	13,083	1,057	19,421	3,547	37,109	—	3,320	40,429
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	16,171	—	8,680	1,727	26,579	—	1,999	28,579

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仲介手数料事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額106,269千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額951,528千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金874,920千円であります。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整 (注)2	合計
	営業代行 事業	メディア事業		ゲーム 開発事業	計			
		イエプラ	アルテマ					
売上高								
外部顧客への売上高	2,718,829	467,406	854,260	—	4,040,497	6,866	—	4,047,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,718,829	467,406	854,260	—	4,040,497	6,866	—	4,047,363
セグメント損失(△)	△761,281	△76,800	△100,261	△199,446	△1,137,790	△6,672	△128,578	△1,273,041
セグメント資産	416,717	67,616	240,585	121,341	846,260	3,819	1,691,863	2,541,943
その他の項目								
減価償却費	18,016	1,364	29,477	2,015	50,873	—	4,834	55,707
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	13,248	5,125	—	—	18,373	—	24,546	42,919

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仲介手数料事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額128,578千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額1,691,863千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,468,602千円であります。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社	合計
	営業代行 事業	メディア事業		ゲーム 開発事業	計			
		イエプラ	アルテマ					
減損損失	—	5,124	11,333	2,623	19,082	—	—	19,082

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	166.30円	176.27円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△25.58円	15.17円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	14.90円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△182,552	108,739
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△182,552	108,739
普通株式の期中平均株式数(株)	7,136,400	7,169,106
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	129,985
(うち新株予約権)(株)	－	(129,985)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。